

▽「くらしが変えるお金の意味」
杉山祐子編

弘前大学名誉教授を務める編者をはじめ、日本各地の大学教授ら研究者8人が執筆。アフリカや、日本の地方での実践例を基に、経済活動とは異なる意味での「お金」の役割と可能性に焦点を当てた。

アフリカの農村での交易や生活とのかかわりをデータとともに紹介するほか、第4部では、日本の地方都

各地の本

くらしが 変える お金の意味

アフリカと日本の地方にある
人びとの営み



杉山祐子 編
小川了 監修
藤井真紀子 監修
阪本公美子 監修
白石佳一郎 監修

市でよく見られる農産物直売所の営みと人的交流も紹介する。
弘前市の「サンフェスタいしかわ」

の取り組みに端を発した伝承料理グループ「津軽あかつきの会」の活動をはじめ、十和田市の「産直とわだ」を拠点とする洋野菜栽培の広がりなど、本県での事例も多数掲載。金銭は経済的活動だけではなく、それを介在した売買の形式によって出荷者と購買者の相互交渉を生む場ともなっていることを指摘している。A5判、340ページ。

(弘前大学出版会・2750円)

※ 東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って、東奥日報社が利用を許諾したものです。